

## 総務部 部長マニフェスト

### 私の思い

#### 総務部長 尾野 晋一



私は、平成 25 年 8 月から、総務部を担当することになりました。総務部は、平成 25 年 8 月の機構改革により総務課、情報政策課、車両運行課及び危機管理課の 4 課から構成されています。総務課や情報政策課は、庁舎管理や情報公開、庁内業務システムの管理・運用などの内部事務を担当しています。一方、車両運行課は、公用車の維持・管理だけでなく、市内の公共施設などへのアクセス手段として、高齢者等を中心にご利用いただいております市内循環バス運行事業などを、また危機管理課は、東日本大震災の発生を機に、地域防災計画の改訂に向けた業務や住民による自主防災組織の充実などをそれぞれ担当しています。このように私が所管します総務部は、職員向けの内部管理事務から身近な市民サービスを行う事業まで、幅広く担当しております。市役所業務はサービス業そのものであり、接遇が基本であると認識しております。それゆえ、それに携わる職員にはそのことを共有し、業務に応じた親切、丁寧な接遇を行うよう求めています。

また、市役所は、市民福祉の増進を図ることを基本として、多くの市民が望む良質なサービスを提供することが求められています。国全体が少子・高齢化社会の進行により人口減少時代を迎える中、若い世代の方は自分たちのライフスタイルにあった住所地を求める傾向にあります。柏原市の人口は減少に歯止めがかからない状況にありますが、市の活性化に向けては人口を増加させる諸施策が必要と考えます。そのためには、柏原市を生活の拠点として選んでいただけるような努力が必要であり、限られた資源の中で「住んでみたい街」「住み続けたい街」柏原と感じていただける魅力ある街に向け、担当の所管事業を着実に進めてまいります。

### 重点目標

- ① 災害時における地域防災力の向上を目指します。
- ② 市内循環バス事業の充実と効率的な運営を目指します。

## 部の施策概要

総務部（総務課、車両運行課、情報政策課及び危機管理課）の主な施策概要

### ① 総務課

庁舎施設（本館・別館）や市有財産の管理、例規の制定など法制文書関係、情報公開制度や個人情報保護制度の適正な運用など

### ② 車両運行課

市内循環バス（柏原病院循環送迎バスを含む）の利用促進及び効率的な運営、公用車の運行及び管理など

### ③ 情報政策課

再構築した基幹系業務（住民記録、国民健康保険、税務関係等）システムや各種の業務サーバーの管理・運用、各種サーバー機器類の経済的な整備など

### ④ 危機管理課

防災体制の強化として地域防災計画の改訂、災害対策体制の確立、備蓄品の充実等、新たなハザードマップの作成及び自主防災組織の整備と訓練の実施など

消防・救急体制の充実として柏原羽曳野藤井寺消防組合との連携、消防団員の技術向上など消防団活動に関する業務など

## 重点課題 ①

### 災害時における地域防災力の向上を目指します。

#### 戦略課題の目標

本市は、地域防災計画の改訂を平成 20 年 3 月に実施し、その計画に沿った対策を推進しているところであります。東日本大震災後、国・大阪府において基本的な考え方、地域防災計画などの見直しが図られ、平成 25 年度以降に市町村へその内容が示されることとなっており、本市においては、それをもとに整合性を持たせた計画の見直しを実施する予定です。この見直しにおいては、より実効性のあるものとするため、様々な取組を実施することで、市民の防災意識の高揚とともに地域防災力の向上を図り、『減災』対策に努めます。

#### 施策推進上の目標

東日本大震災などにおいて、災害時における行政の支援（公助）には限界があることが明らかになったことを受け、被害を最小限とするには、地域住民が主体的に行動することが重要であり、より一層『自助・共助』の大切さが強調されます。そのため、大阪府から新たな地域防災計画等が示されるまでの間、次の取組を推進していくことで、地域防災力の向上を図ります。

- ① 自主防災組織の整備等を実施します。
- ② 個別ハザードマップの作成（平成 26 年度完成予定）します。

#### アウトプット

地域住民が自然災害に関する情報を共有した上で、「自分たちの地域は自分たちで守る。」という考えをもとに、組織強化に向けた取組を行います。

- ① 自主防災組織の整備等
  - ・ 組織の再整備と活性化
  - ・ 防災訓練の実施と実施単位、訓練内容の見直し
  - ・ 未結成町会へ結成促進
  - ・ 他組織との連携やネットワークの構築
  - ・ 防災パンフレットの作成及び配布
- ② 個別ハザードマップの作成
  - ・ 町会ごとの情報収集（国・大阪府の情報提供、まち歩き等）
  - ・ 町会又は校区単位の代表とのワークショップ開催

## アウトカム

災害時に地域住民が正確な情報を得ることで、的確な避難行動が可能となり、お互いに助け合うことで被害の最小化が図れます。また、避難所生活を余儀なくされた場合においても、地域間連携が図れていれば、スムーズな避難所運営が可能となります。

## 重点課題 ②

### 市内循環バス事業の充実と効率的な運営を目指します。

#### 戦略課題の目標

市内循環バスは、身近に外出手段を持たない高齢者や障がい者の方の社会参加を促進するため、駅や公共施設へのアクセスを向上させ、また民間バス事業者の撤退による、交通不便地区の解消を図り、公共施設等の利用促進による「まち」の活性化を目的として、市内循環バスを運行します。

#### 施策推進上の目標

市内循環バスは、利用実態を踏まえた効率性及び利便性の向上を図り、市民生活に著しい影響を与えることがないように配慮し、路線の新設・統廃合、停留所の位置等の見直しを行い、より効果的・効率的な運行を実施します。

また、現状の運営形態の見直しも含め、市内循環バス事業の維持・管理費用の削減に向けた取り組みを行います。

#### アウトプット

市内循環バス（病院循環送迎バスを除く）の利用者数の増加を目指す。  
〔利用者数：240,000人超／年間〕

#### アウトカム

市内循環バスを高齢者や障がい者の身近な移動手段と位置づけ、その利用促進の啓発を行い、市域内の人の移動を活発化させ、市民生活の利便性、快適性の向上を図ります。